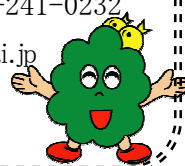


笑顔

熊本市高齢者支援センター ささえりあ 帯山
 熊本市中央区保田窪1丁目 1-33 第2大田ビル1階
 第30号 電話:096-241-0230 FAX:096-241-0232
 E-mail:sasaeriaobiya@kyouninkai.jp
 平成27年1月 http://www.kyouninkai.jp/obiya /



さ 支え合う 地域づくりを

お 帯山圏域で

さ 支え合える 皆さんと

び ビジョン(あるべき姿)を創り

え エリア(小学校区)を跨いで

や やれるところから

ま 前に進んでいきましよう

り 理解し合いながら

あ 明るい未来に向けて

謹賀新年

皆さま、新年あけましておめでと〜うございませう。旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

さて、昨年は託麻原・帯山・帯山西校区社会福祉協議会の主催による「地域支え合い“共同”体制づくり事業」の取り組みが始まりました。ささえりあ帯山では事務局として地域で支え合う仕組みづくりを目指しまして、本年も頑張つて参ります。

センター長 那須 久史



●認知症企業サポーター
 十一月二十一日(金)に有限会社 山本薬品で認知症サポーター養成講座を開催しました。企業向けの認知症サポーター養成講座を開催するのは、今年度で二回目になります。山本薬品さんは、市販されているお薬を自宅に届けている会社だそうです。その業務の中では高齢者の方の自宅に伺う機会が多く、いち早く異変に気付かれる立場に

あるとの事です。これからも認知症企業サポーターとしてどうぞ宜しくお願い致します。

●認知症キッズサポーター
 十月に、託麻原小学校六年生、帯山小学校四年生(P.T.Aも参加)を対象とした認知症キッズサポーター養成講座を開催致しました。例年、講座の中にグループワークを取り入れておりますが、生徒さ



んだちの意見には毎回感銘を受けます。私達にとっても教えられることばかりです。この講座を受講し、認知症という病気の正しい理解と、認知症の人やご家族への対応の仕方などを学んで頂き、それぞれの地域のサポーターとして活躍して頂ければと思います。まずはできることから始めましょう。



新人紹介

10月から地域包括支援センターに入職しました、看護師の山下好実です。地域の皆様の支えになれる様に頑張っていきたいと思います。色々教えて下さい。どうぞよろしくお願い致します。

【趣味】クロスワード ロジックです。得意なんですよ〜♪

★ 編集後記 ★

昨年は、干支(午)と同じく時間が駆けっていくように感じられ、アツ!という間に過ぎた一年でした。ですので、今年は羊のように、ゆつくりと過ごせるよう気持ちだけは焦らずに、一日一日を過ごして行きたいなあと思っております。

さて、今回の広報誌におきましても、昨年、ささえりあ帯山で取り組ませて頂きました行事等を掲載しております。本年度も昨年同様、地域福祉活動に真摯に取り組んで参ります。どうぞ変わらぬご支援・ご愛顧を頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

小島 康江

「地域支え合い“共同”体制づくり事業」



事業所職員が送迎を行い、利用者の方と一緒に会に参加。終始笑顔の絶えない時間です。 — (参加者)

「地域支え合い“共同”体制づくり事業」の取り組みとして、十二月十五日(月)に福岡市へ視察研修に行きました。参加者は三校区の社協長をはじめ各校區から四名、圏域内の主任ケアマネジャー、市社協職員等、これにささえりあ帯山を含め総勢二十三名でした。始めに南区にありまず花畑公民館で開催された高齢者

茶話会「虹の会」を見学させて頂きました。この茶話会は、ボランティアグループ「虹」によって運営されており、介護事業所等による送迎や、その他のボランティア団体により運営されていました。次に「第一宅老所よりあい」を見学させて頂きました。建物は古民家風で、室内も広くゆったりとした空間でした。

代表の村瀬氏より「一人の高齢者が出来るかを常に考え行動してきている。その結果、現在の地域との関係性に繋がっている」と話されました。今回の研修において、自分達の日々の活動の意味を振り返る良い機会となったと同時に、今後の活動に活かしていきたいと思われました。



よりどころの中での人間関係の継続は大切である。 — (村瀬氏)



11月23日(日)帯山校区にて『帯山校区合同防災訓練』が開催されました。各町内から小学校への避難訓練からスタートし、会場の帯山小学校ではまず避難所運営ゲームが行われ、避難場所の設備や避難者を支援するための方法の確認がありました。また介護サービス事業所も加わった救急救命の寸劇では、救急隊の到着前に出来る事の説明がありました。その後は各町内に分かれ、初期消火訓練や起震車体験、車椅子体験、救急救命法など様々な体験コーナーにて学ばれていました。親子で空き缶を使ってお米を炊く“サバイバルメシタキ”では、美味しそうに炊けたご飯を笑顔で食べている子供の姿が印象的でした。高齢者の方から小さな子供さんまで多くの参加があり、帯山校区の防災意識の高さを改めて感じました。

帯山校区合同防災訓練



「家族介護者教室」開催中!



十一月二十七日(木)鹿乃家にて、第四回家族介護者教室を開催しました。今回は、ささえりあ帯山の事務所と同敷地内のビルにありまず、**保田窪法律事務所 弁護士 田上 裕輝**先生に「自分と家族を守る法知識」ということで、成年後見制度についてお話をさせて頂きました。後見と任意後見制度の違いや利用のタイミング、料金などの詳細や、法律上の分りにくいところを事例を元に説明して頂きました。先生のお話は、一つひとつがとても分かりやすく私達ささえりあ帯山の職員も大変勉強になりました。

— 保田窪法律事務所 弁護士 田上 裕輝 先生



地域ケア会議

今年度第2回目となりますささえりあ帯山圏域での定例の「**地域ケア(個別)会議**」を開催致しました。今回は、ご利用者やご家族の参加はありませんでしたが、居宅介護支援事業所とサービス事業所、担当民生委員さんと後見人を務める方に参加して頂きました。**地域ケア会議**とは、国が掲げている「地域包括ケアシステム」の構築のための手段の一つです。個別な事例を通し検討する事によって、地域全体の課題を発見し、地域づくりや資源開発につながります。この地域ケア会議を積み重ねることで、政策へ反映させる段階まで発展させることができる重要な話し合いとなります。



H26.11.28 (金)

高齢者をはじめとする老若男女の住民全体が、今後も尊厳のある生活を地域で続けていけるように、地域内の相互のつながりをますます強固なものにしていきたいと思ひます。

在宅療養サポートサービス

検討委員会開催!

12月4日(木)託麻台リハビリテーション病院にて開催。「**NPO法人くまもと疾患管理サポートセンター**」が、福祉医療機関(WAM)の助成金を受けて、ささえりあ帯山圏域で本事業を展開されます。この委員会は、在宅療養を希望する方や、早期退院により在宅生活に不安がある方が、在宅生活を安心して送れるような**退院支援**や**地域移行**を推進することを目的として設置されました。



構成メンバーは、圏域内の中核病院の医師・ソーシャルワーカー、訪問看護師、主任ケアマネ、そしてささえりあ帯山のスタッフです。今年度中に3回の事例検討会を予定しています。第1回目は、事例が抱えている課題を元に今後必要と考えられる**インフォーマルサービス**について意見交換を行いました。

